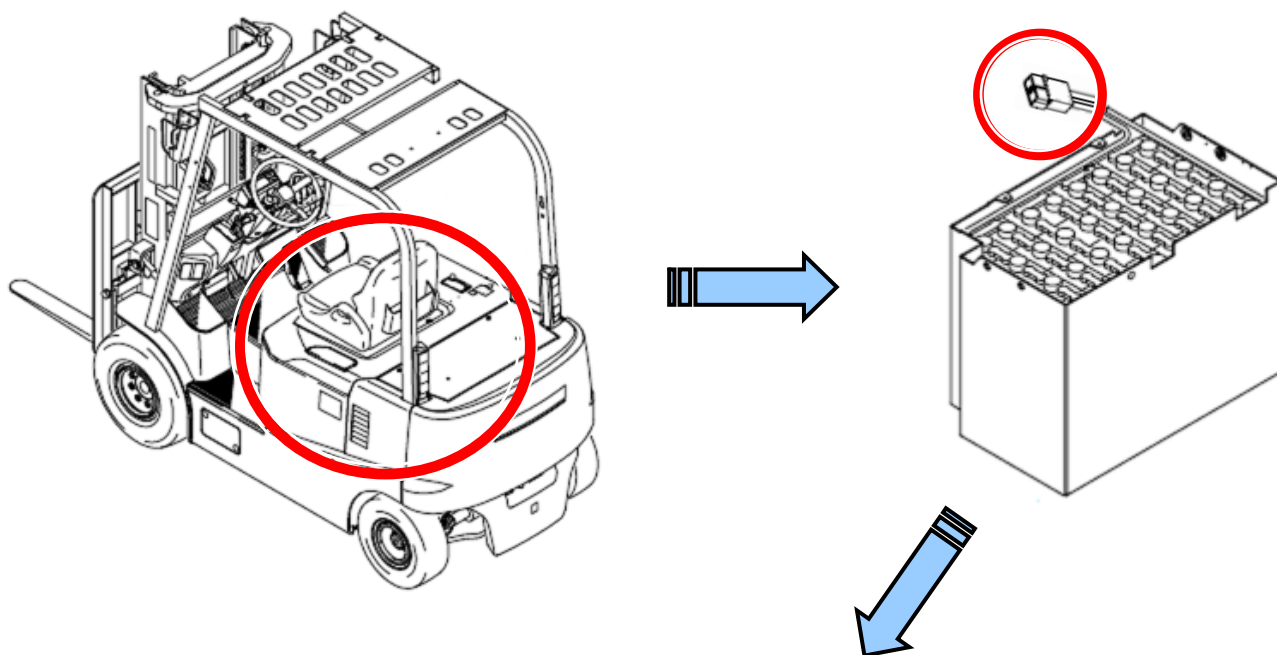
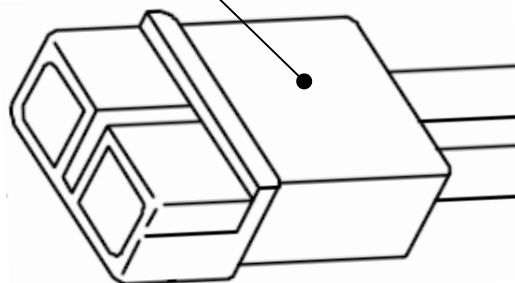


改善箇所説明図



不適合発生箇所

バッテリープラグ



基準不適合発生箇所

バッテリー式フォークリフトのバッテリープラグにおいて、プラグ端子の圧着方法が不適切なため、当該圧着部分の接触抵抗が増加し、バッテリー電流が大きいとプラグ端子が過熱する場合がある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、負荷の大きな作業を連続して行った場合に、バッテリープラグの樹脂部が熱変形し、バッテリー側と車両側の電気接点が離れることで、電源が切れて車両が停止するおそれがある。

改善の内容

全車両、プラグ端子を点検して、熱による変形・変色が見られる場合は車体側ならびにバッテリー側のプラグ端子を対策品に交換する。また、熱による変形・変色が見られない場合はバッテリー側のプラグ端子の圧着箇所へ追加カシメ加工を行う。

識別：改善実施済車には、車体前面フロントカバー上隅の運転者席側にNo.3377 のステッカーを貼付ける。